

新型コロナウイルスによる臨時休園・休校、レジャー施設の休業を受け  
「あそびのプロ」が、自宅で簡単にできる、多種多様な「あそび」を提案  
動画コンテンツ「プレイリーダーがお届け！あそびのヒント」配信中

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーンエルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、自宅を中心に、簡単にできる“あそびのヒント”を紹介する動画を、3月3日(火)より配信しています。

動画は、Youtube のボーンエルンド公式チャンネル(<https://www.youtube.com/user/Bornelund>)のほか、ボーンエルンド公式 LINE 発信のタイムライン、Facebook、Instagram(ストーリーズ)にてご視聴いただけます。

お届けするコンテンツは、当社のあそび場施設で、子ども一人ひとりの個性や発達にあわせたあそびを日々提案している「プレイリーダー」がおすすめる、自宅や公園で、親子で簡単にできるあそびの数々です。「からだ遊び」、「ふれあい遊び」、「表現遊び」、「自然遊び」、「赤ちゃんとの過ごし方」などをテーマに、3月末まで、毎日1つ動画を配信する予定です。

幼稚園や小学校が臨時休園・休校となり、当社のあそび場施設をはじめ多くのレジャー施設も休業するなか、自宅で毎日どのように過ごすか悩んでいる、乳幼児や小学生を持つご家庭を少しでも応援したいという思いで取り組んでまいります。



配信するあそびの例

タオルを使ってチャレンジ！反射神経勝負  
タオルを使ってキャッチボール  
絵の具とお水で色づくり「からーめいく」



【ボーンエルンドについて】

ボーンエルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国78ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では全国21ヶ所、年間約277万人、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約30ヶ所、年間350万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンエルンド 広報室 担当:村上  
TEL:03-5785-0860、080-5901-3591 e-mail:public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーンエルンド TEL:0120-358-518(月～金 10:00～17:00)